

県環境アドバイザーからの提言

# 今をとして 未来

▶▶17

今夏の暑さは特別だった。仕事先は別だが、わが家はエアコンを使わずに過ごした。唯一、自慢している。

南北に風の通り道をつくり、東の大きい開口も風道にうまく沿わせた。ただ、朝日が低く強烈に入るので、深い軒にすだれで光を調整した。窓の高低(高窓、地窓)を利用して風道が作れる。どうしようもないほど風のない時、扇風機は補助に使った。夕方、庭に打ち水をしたら、生暖かい風から心地よい風が生まれた。

## 工夫次第で温暖化防止に

化、くわく躯体の保護、プライバシーの保護、美観などがある。わが家では、柿木が一年中その役割を果たしている。春、新芽は美しくアメリカシロヒトリならずともおいしいし、初夏、白いかわいい花がつか。夏には葉が茂り気持ちよい日陰ができる。秋には実、紅葉を楽しみ、落ち葉となり冬には存分に太陽光を受け入れられる。



【こしむら・りよこ】

### 地球にやさしい建築

前橋市西善町。県環境アドバイザー連絡協議会書記、県地球温暖化防止活動推進委員、県被災建築物応急危険度判定士、一級建築士。

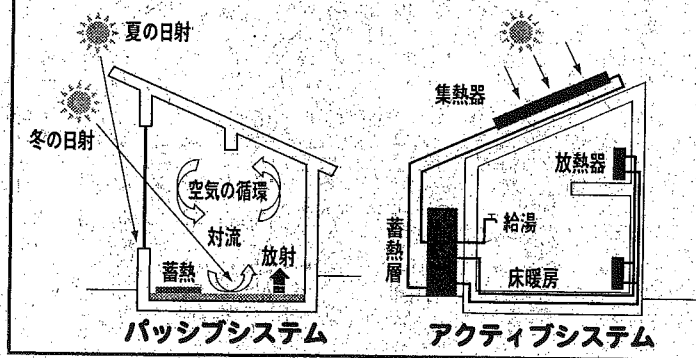
庇のある家、軒や庇の出が少なくなった。季節により太陽高度と強さが違うので室内に入る光を調節してくれる。日本の風土、群馬の地域性で、建築の要る。素窓一つにしても大きな等差出し、窓の開け閉めの仕方によっても効果が変わる。

「ゆっまちゃんの家」を「エコD.O.」をすすめる。努力が数字で表れてくるとおもしろくなる。もったいない精神の持ち主は、経済効果が数字でわかり、得した気分になる。と、もともと頑張りたくなる。そして、皆で地球温暖化防止に貢献できれば、こんなにうれしいことはない。

(西村 良子)

### 太陽熱を活用した住宅

建物自体のつくり方を工夫して太陽熱をそのまま利用する方法をパッシブシステム、機械装置を使って利用する方法をアクティブシステムと呼んでいます。



こつ快適に過ごせる。堪えたよな我慢はしなかった。季節変わりも体調は自然で気持ちよい。

寒くなれば、太陽光で得た熱をつまぐためることによっても暖房の節約、省エネにつながる。